



天文台だより

銀河の森天文台
2026 秋号
Vol.113

スターライトフェスティバル、流星予報に大にぎわい！

7月4日(土)、第15回陸別スターライトフェスティバルにて、国立天文台 佐藤 幹哉氏による講演会「流星雨の謎に迫る！～ダスト・トレイルと流れ星予報～」を開催しました。

講演会では、実際の流星映像なども交えながら、流星予報や流れ星について幅広くお話しいただきました。また、質疑応答では、来館者のみなさんが日頃から気になっていた流れ星に関する疑問にも次々と答えていただき、和やかな雰囲気の中で大いに盛り上がりしました。

当日は天候にも恵まれ、講演会終了後には屋上広場で星空を眺めたり、大型望遠鏡や双眼鏡で天体を楽しむ観望会も行われ、にぎわいました。また、この日は低緯度オーロラが出現する可能性があり、肉眼では判別が難しかったものの、撮影を続けた結果、写真で低緯度オーロラを観測することができました。



講演会でお話しする佐藤幹哉氏

「館長コラム」

例年のことではありますが、陸別の夏の夜空はとにかく晴れません。昼間は快晴でも夕方から雲が湧いてきてあっという間に雲に覆われてしまいます。小利別から北側に行くと晴れているのにです。それに比べると秋から冬にかけては、晴れる日が段々と増えていきます。そこが夏から秋への季節の変わり目なのかもしれません。



館長 津田浩之(双子座)

去年より「暑くないな」と思って、気象データの7月を確認すると、平均気温が20℃だったので3℃、日最高気温の平均で3.7℃、低くなっていました。最高気温では、去年は36.6℃と猛暑日を記録していましたが、今年は32.6℃とこれも4℃低い値となっていました。平年値(1991年から2020年)と比べると平均気温で1.7℃高くなっていますので、冷夏ではなかったと思います。冷夏だった2003年の7月の平均気温は15℃で、今年よりも5℃も低い値でした。平年値よりは、地球温暖化で平均気温が高くなっている状況で推移しているといったところでしょうか。

何より星を見るのには、夜晴れてくれなければならないので好天に恵まれてほしいと思うこの頃でした。

秋のイベント情報 !!

☆秋の天体観望会

見頃を迎える秋の天体を観望します。望遠鏡では、海王星や土星などを観察することができます。

開催日: 9月30日(水)～10月11日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

空がすっかり暗くなる時間: 午後6時30分頃から

☆ハロウィーンナイト観望会

期間中、仮装してご来館いただくと、先着順でお菓子をプレゼント！館内や望遠鏡も特別仕様で飾られています！

開催日: 10月28日(水)～11月1日(日)

空がすっかり暗くなる時間: 午後6時頃から

☆土星と秋の天体観望会

今年はこの時期、人気の土星が見頃を迎えます。土星の環をじっくりご観望ください。

開催日: 11月4日(水)～11月15日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

空がすっかり暗くなる時間: 午後5時50分頃から

☆驚き！おもしろ科学実験2026

1階展示室に様々な実験ブースが出展します。入館料のみで参加できますので、ぜひご来館ください。

開催日時(予定): 11月7日(土) 午後1時～午後6時

☆ふたご座流星群観望会

今年のふたご座流星群は12月14日午後11時頃に極大を迎えます。流れ星が多いと予想されるこの期間に観望会を開催します。

開催日: 12月12日(土)～14日(月) ※14日は特別開館

説明会: 午後7時30分から

空がすっかり暗くなる時間: 午後5時30分頃から

暦表

(陸 別 町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月 1日	5:18	17:10	20.0	19:18	10:46
10月15日	5:35	16:46	4.5	10:25	18:52
11月01日	5:56	16:21	21.5	21:47	12:26
11月15日	6:14	16:04	5.8	11:18	20:34
12月01日	6:33	15:54	21.8	23:20	11:50
12月15日	6:46	15:53	6.1	10:34	21:37

天文行事&暦

10月

- 9/30-10/11 秋の天体観望会
 4 土星が衝
 (光度:0.3等、視直径:19".7)
 8 寒露(24節気:太陽黄経195°)
 11 ●新月
 12 水星が東方最大離角
 (光度:0.0等、離角:25°10')
 22 オリオン座流星群が極大
 (最大10個/時)
 23 霜降(24節気:太陽黄経210°)
 26 ○満月
 28-11/1 ハロウィーンナイト観望会



11月

- 10/28-11/1 ハロウィーンナイト観望会
 4-15 土星と秋の天体観望会
 7 立冬(24節気:太陽黄経225°)
 驚き! おもしろ科学実験2026(予定)
 9 ●新月
 18 しし座流星群が極大
 (AM9時 最大5個/時)
 21 水星が西方最大離角
 (光度:-0.5等、離角:-19°37')
 22 小雪(24節気:太陽黄経240°)
 24 ○満月
 26 天王星が衝
 (光度:5.6等、視直径:3".8)
 30 金星が最大光度(-4.9等)

12月

- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
 9 ●新月
 12-14 ふたご座流星群観望会
 14 特別開館、ふたご座流星群が極大
 (PM11時 最大60個/時)
 16 振替休館
 22 冬至(24節気:太陽黄経270°)
 24 ○満月
 28-1/5 年末年始休館



「なおみちカフェ」が開かれました!

8月26日、鈴木直道北海道知事が銀河の森天文台を訪問されました。知事による「なおみちカフェ」では、館内の展示や大型望遠鏡を視察されたほか、懇談が行われました。



▶左端2番目から順に、本学学陸別町長、鈴木直道北海道知事、津田浩之当館館長

暮らしと宇宙「ルリボシカミキリ」

この夏、今まで見たことのない色鮮やかな虫に出会うことができました。とても美しかったので写真を撮って調べると、「ルリボシカミキリ」という名前のカミキリムシだということがわかりました。紙面ではお伝えできないのが残念ですが、なんともきれいな水色に黒い斑点模様が入っています。空だけではなく、色んなホシがあてい



いですね。(守)

▲8月2日、天文台屋上にて

星座小噺「黄金のおひつじ?」

今回は黄道12星座のうちの1つのおひつじ座についてお話ししていきます。

起源は古代メソポタミアまで遡るとされています。おひつじ座の神話はいくつかの話が伝えられています。よく語られるのは双子の兄妹を救った金の毛皮を持つ牡羊です。紀元前3世紀頃に活躍した学者であるエラステネスは、羊が兄妹を助けた後に黄金の毛皮を脱いで与えたため、星座は暗く見えると伝えています。

おひつじ座の名前は聞いたことがあっても、実際に星座を見たという方は少ないかもしれません。



Aries

おひつじ座の中で最も明るい星は2等星で、明るい星は3等星が一つ4等星が二つあるのみです。明るい星が少ないことに加え、なかなか羊にはみえない星の並びなので、初めてで見つけるのは少し難しいかもしれません。(寺)

天文台からのお知らせ

- ☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。
- ☆ 12月14日(月)は特別開館、12月16日(水)は振替休館となります。
- ☆ 年末年始12月28日(月)~1月5日(火)の期間は、天文台休館日となります。

プラネタリウム情報!!

プラネタリウムは、開館日の土・日・祝日のみの上映になります。
 定員:10名(入館者先着順、受付にて整理券を配布)
 上映時間:午後3時、4時、5時(開館日の土・日・祝日のみ)
 上映番組:「今夜の星空」(各回約10分)

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)
 〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100
 URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>
 E-mail: ginga@rikubetsu.jp X(旧Twitter): @ginganomori_obs

